

ヨコハマ人・まち

第31号

まちへ人がまちをつくる

発行：横浜市 都市整備局 都市づくり部地域まちづくり課 TEL 045-671-2696 FAX 045-663-8641
Email: tb-chiikimachika@city.yokohama.jp
取材・編集：横浜市民活動支援センター運営委員会 TEL 045-223-2666 FAX 045-223-2888
Email:y-sien-c@npo-c.city.yokohama.jp

【ヨコハマ・人まち 目次】

- 気軽に楽しみながら参加できるのが一番！～まちの美化活動は、地域を知り好きになるまちづくり活動の第一歩
…富士見が丘連合自治会 / I Love Yokohama
- 「地域を愛する心」こそ地域の資源！道を通じて人とまちがつながり、訪れた人にも楽しんでもらう「たび人の驛（たびびとのえき）」をいっしょにつくりませんか。

気軽に楽しみながら 参加できるのが一番！



まちの美化活動は、地域を知り好きになる
まちづくり活動の第一歩

富士見が丘連合自治会 / I Love Yokohama

地域には、自宅前の道を毎日清掃している方やゴミ箱周辺に散乱しているゴミを片付けている方など、日頃からまちをきれいに住み心地よくする美化活動をしていらっしゃる方が多いと思います。今回はそんな美化活動をツールに、幅広い年齢層の多くの人たちを巻き込んで活動を広げている富士見が丘連合自治会と I Love Yokohamaのみなさんにお話をうかがい、どのようにして人が集い、楽しみながら活動を広げているのかをご紹介します。

● 富士見が丘連合自治会 ●

地域の課題を解決しようとハマロードサポーターに登録！

8つの自治会町内会からなる富士見が丘連合自治会は、泉区の最南端、緑豊かな自然が残る地域にあります。この地域の環状4号線は平成19年に開通したことで交通量が増え、車窓から投げられるゴミや煙草の吸殻が目につくようになりました。自治会では以前から川への不法投棄を何とかしようと課題検討委員会を設けて活動していました。そして、子どもたちのために、通学路にもなっている環状4号線のゴミと歩道をふさぐほど伸びた雑草を取り除くことをきっかけに、平成19年1月、ハマロード・サポーター（1）に登録し、毎月第3日曜日に活動を始めました。朝の散歩がてらに参加できるようにと、集合時間は朝9時です。最初は50～60人だった参加者は、今では130名ほどが参加する時もあるほど活動が広がってきました。

小学生のポスターを沿道に設置することで、親子で活動に参加


活動の中で、中和田南小学校の子どもたちにポイ捨て禁止を促すポスターを描いてもらい、親子で沿道に設置してもらいました。設置する位置は、ちょうど信号待ちのドライバーの



目に留まりやすいように信号付近の目線の先。今では、4号線沿いに十数枚、和泉川沿いに貼ってあるのをあわせると130枚程度のポスターをはっています。ラミネートした手作りのポスターは、ドライバーの注意を促す効果だけでなく、活動に参加する子どもたちも増えていきました。それまで会話を交わすことのなかった町内の大人と子どもが顔見知りになることで、安全・安心のまちづくりにもつながってきたそうです。

落書きされていた地下道に中学生が壁画を制作。地域の「宝もの」が誕生

和泉川沿いにある赤坂橋の全長2.5mの地下道の落書きを、

ハマロードの活動中に発見し、地域で解決しなければならぬ課題のひとつとなりました。そこで、2007年の夏休み、9日間・延べ210名の泉が丘中学校の美術部を中心としたみなさんと地域の方の協力により、泉区の花のあやめや、子どもたちが川で遊んでいる画など、色とりどりの壁画が完成しました。単に落書きを消すのではなく、地域の子

 どもたちが画を描くことで、それまで暗かった地下道も今では地域の人が散歩に訪れる地域の「宝もの」になったのです。

楽しみながら活動が続けられるように

楽しみながら、継続して活動に参加してもらえるような工

夫はそれだけにとどまらず、活動日を印刷し参加した日にスタンプを押す「ハマロード・サポーター証」もつくりました。富士見が丘連合町内会の和田さんと村上さんは、「同じ町内に住んでいても普段知らない人どうしに交流する機会を。ボランティア活動をしたいと思っていても一歩を踏み出せない人には、参加しやすい場の提供。子どもたちには、ゴミを捨てられない環境づくりや地域・ふるさとを大切に思う心も育ててもらえるように。」と、楽しみながら活動を続けてきたことで見えてきた活動の3つの目標をお話してくださいました。春には、みなさんが植えた菜の花が和泉川沿いの収穫を終えた田んぼに咲きそろうそうです。信号待ちの一瞬、子どもたちのポスターやハマロード・サポーターの活動を車窓から見かけることがあったら、ご自分のまち、ふるさとのことを少し思い出してみてください。

(1) ハマロード・サポーターは、横浜市道路局が行っている事業ですが、道路管理者である各区の土木事務所と市民や企業などのボランティア団体が協力して、清掃や美化活動を通して地域のみちづくりを行う制度で、現在では190を超える団体が登録しています。(平成20年6月1日現在 191)
<http://www.city.yokohama.jp/me/douro/kanri/kanri/hamaindex1.html>

I Love Yokohama

毎月6万人の仲間の中から活動に手をあげる人がプロジェクトのリーダーになる!

みなさんはSNSをご存知でしょうか。Social networking service と言って、インターネットを通じて個人間のコミュニケーションを行い、つながっていく仕組みのことです。I Love Yokohamaは、横浜をよくしたいと思っている人、横浜に興味・関心のある人々が参加してつくっているインターネット上のコミュニティのひとつで、会員数6万人の全国でも最大規模のサイトです。趣味や嗜好で集まるコミュニティはどうしても若い世代が多くなりがちですが、幅広い世代の人に参加してもらいたいと、横浜という地域をキーワードにしたことで、年齢の高い人の参加も増やすことができたそうです。

会員が1万人を超えるまでは単に情報共有の場だけであったサイトも、「花火大会のあと、横浜のまちが汚れているのを何とかしたい」というコメントをきっかけに、オフ会(2)のメンバーが核となり、月1回の清掃活動を始めるようになりました。活動日を毎月第3土曜日の午後と決めたのも、仕事をしている人たちがゆっくりと週末を楽しむことができるようにという理由からでした。

清掃活動を、エンターテインメント性をプラスしたイベントにして、活動報告を多くの人に見てもらい!

みなとみらい地区での毎月1回の清掃活動を続け、その都度報告書とフォトアルバムをインターネット上で公開しました。インターネット上でのつながりが現実の世界で具体化したことを広く伝えることで、参加者も次第に増えていきました。グループを作ると、どうしても保守的



になったり、言い出した人がその後も長く活動に関わらざる負えない状況になることも多いのですが、I Love Yokohamaでは毎月のイベントを短期プロジェクトとして位置づけ、その都度スタッフに立候補してもらう形式をとっており、無理なく気軽に運営にかかわれるようにしています。



あくまでも清掃活動は地域活動の最初の一步、通過点に過ぎないと代表の佐藤さんはおっしゃっています。地域貢献に興味があっても一歩を踏み出せない人たちに参加してもらうには、楽しみながらまちのよさを知ってもらうのが一番であると考え、毎回工夫を凝らし、活動後にきれいにした会場で花火大会を楽しんだり、清掃した地元のバーで打ち上げをしたり、商店街の店舗を巡るゲームなど楽しみなイベントを毎回企画しているそうです。

インターネット上の団体が地域の活動に飛び出していくという新しいまちづくりの形!

I Love Yokohamaでは、清掃活動がそれぞれの地域への活動の入り口であり、多世代を結びつけるひとつのきっかけと考え、今後は横浜市内のあらゆる地域での活動団体とコラボレーションしていく予定だそうです。(下町の地域活性や地元企業とのイベント主催、お祭りなどの協力など)インターネットのサイトに参加している個人が現実の団体と結びつき、地域に飛び出し、地域貢献の活動に参加していくという仕組みが新しいライフスタイルの創出につながり、横浜から新しいまちづくりの形が発信されているとも言えます。みなさんもI Love Yokohamaのサイトにアクセスして、このサイトをきっかけにして気軽にまちづくりの活動に参加してみたいかがでしょうか。

(2) (オフラインミーティング。パソコン通信やインターネット上で活動するグループに所属するメンバーや、ネットワーク上の特定の掲示板・チャットなどによく出入りする人たちが、実際に集まって行なう会合のこと。)
 I Love Yokohama
<http://hamalove.jp/>

「地域を 愛する心」 こそ地域の資源!

道を通じて人とまちがつながり、
訪れた人にも楽しんでもらう
「**たび人の驛** (たびびとのえき)」
をいっしょにつくりませんか。



東海道 風景街道

日本風景街道 (Scenic Byway Japan)。まだ馴染みのない言葉ですが、地域固有の資源を活かして、まちを訪れる人々をもてなし、よここびや感動をもたらす。また、地域や道路の魅力の再発見、再構築によって地域の活性化と美しい道づくりを目指す取り組みとして、国土交通省が平成19年4月に始めた登録制度による事業です。NPOや地域住民、企業、行政、道路管理者など多様な主体がパートナーシップを構成しており、現在は全国で105ルートが登録されています。(2009年1月31日現在)

今回ご紹介する東海道 風景街道は平成20年1月に日本風景街道の16番目に登録されました。横浜市内には旧東海道の宿場が3つ(神奈川、保土ケ谷、戸塚)あり、これまでもそれぞれの宿場を中心に民間団体による様々なまちづくり活動が活発に行われてきました。しかし、横浜市内の東海道を全体として考える機会は無く、区・局が連携した行政側の取組も遅れていました。そこで、地元で活動されている民間団体や

国土交通省横浜国道事務所が中心となって、関係する行政や3つの宿場で活動している団体や個人に声をかけ、「東海道の歴史的遺産や家並みはないが、地域を愛する心こそ地域資源であり、パートナーシップを組んで訪れた人に『まち』を知り『まち』を思って想ってもらおう」と東海道 風景街道の活動が始まったのです。

訪れた人をもてなし、楽しませる心

それまで長年に渡って歴史を活かしたまちづくり活動(街並みの整備・再創造、案内ガイド、ウォークイベント等)を続けてきた19団体・個人の方たちが、「地域を愛する心」を地域の資源と考え、人とまち、心をつなげる活動として最初に行ったのが、昨年3月神奈川宿と戸塚宿の間で行ったウォークイベントです。実は初めて東海道を訪れた人だけでなく、そこに住んでいる人さえも気づかない旧東海道のルート。マップを渡したにもかかわらず、サインが統一されていなかったり道案内の情報が街道沿いになかったりと、普段なにげなく訪れた「たび人」には歩きづらい「道」であることが改めてわかりました。

しかし、歴史の道である東海道は、本来案内するガイドがいなくても、道しるべや情報板さえあれば誰でも楽しんで歩けるものでなければならぬのではないかと考え、東海道 風景街道のみなさんはアイデアを出し合い話し合いを重ねていったのです。

そして、訪れた人を地域全体でもてなし、楽しんでもらえるように、各宿にひとつずつ飲料の自動販売機に情報を発信するQRコードをつけ、道案内に役立つ工夫をし、設置することにしました。今後は統一したサインや説明板が出せるよう提案もしていきたいと考



えているそうです。また、ウォークイベントでつくった「たび人の驛（たびびとのえき）」では、地域の名物・名品の販売を行ったり、歩くたび人が気軽に立ち寄り、楽しめるお休み処をつくったりしました。今後は、道の駅のように、歩く人や地域の人があいひと息つけるお休み処をつくろうと、東海道のほかの宿場の事例も調査しに出向いているそうです。

人と出会い心をつなぐまちづくり

これまで各宿で行っていた活動も、東海道 風景街道としてパートナーシップを組むことによって、さまざまな主体と連携できるようになりました。他区の区役所（土木事務所含む）や国道事務所などの道路管理者にも広報支援や専門的なアドバイスをしてもらい、お互いの特性を活かし魅力的な東海道よこはま三宿とそれにつながる人、まちを創りだそうと考えています。また三宿だけでなく、間（あい）の宿として、かつては東海道の重要な役割を果たしていた鶴見区や西区の東海道でも出会いの場をつくりたいと、「リレー講座」とワークショップを企画しました。今後は仲間づくりをしながら、横浜市内の東海道のルートをつなぎ、横浜東海道として活動を広げていく予定だそうです。

人とまち、みちがつながる 「たび人の驛（たびびとのえき）」

道を歩くこと、まちを訪ねることで人とふれあい、それまで気づかなかったまちや道の魅力にあらためて



●まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取り組みなどの情報を下記までお知らせください。このページ及びメールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

情報提供のあて先：

横浜市 都市整備局 都市づくり部 地域まちづくり課
TEL：045-671-2696 FAX：045-663-8641
e-mail：tb-chiikimachika@city.yokohama.jp



気づくことは意外に多いのではないのでしょうか。車窓から眺める風景、誰かと語り合いながら辿ってみる歴史の道。横浜東海道をキーワードにつながった多くの活動団体や地域の人たちが、「まちを想う気持ち」を大切にしながら、それぞれの地域とあらためて向き合い、ふれ合って地域を知ってもらおうという活動には、道を通じてどこまでも「地域を愛する心」が広がっていく可能性が秘められています。

人とまち、道がつながり、気軽に立ち寄り楽しめる「たび人の驛（たびびとのえき）」を横浜東海道で見つけられる日も遠い日のことではないかもしれません。

●日本風景街道

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>

■東海道 風景街道は、このようなメンバーでパートナーシップを結んでいます！（2008年2月21日現在）

- 商店街：神奈川区商店街連合会／保土ヶ谷区商店街連合会 戸塚区商店街連合会
- 行政：横浜市/国土交通省横浜国道事務所
- 市民活動団体：神奈川宿遊学セミナー／保土ヶ谷宿四〇〇倶楽部／ほどがやガイドボランティアの会 とつかファン倶楽部
- 地域のみなさん

* 広報活動を通じ、逐次パートナーシップの構成メンバーを拡大しています。

「ヨコハマ人・まち」は地域まちづくりに関心のある方への転送、メールマガジンへのお誘い大歓迎です。メールマガジンの配信申し込み・停止は、下記のアドレスからお願いいたします。

<http://ml.city.yokohama.jp/mailman/listinfo/hitomachi>

★「ヨコハマ人・まち」バックナンバーはこちら

http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/back_num/index.html